

ワイヤレスステレオ ヘッドセット

リファレンスガイド

お買い上げいただき、ありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

このリファレンスガイドには、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。リファレンスガイドおよびクイックスタートガイドをよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



MDR-AS600BT

©2015 Sony Corporation Printed in China

マニュアルについて

取扱説明書には以下の3種類があります。

クイックスタートガイド(別紙)



接続方法や基本的な使いかたを説明しています。

リファレンスガイド(本書)



使用上のご注意や主な仕様を記載しています。

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

本機の使いかたを詳しくお知りになりたい場合は、ヘルプガイドをご覧ください。また、困ったときの対処方法もわかりやすく記載しています。

パソコンやスマートフォンでご覧いただけます。

URL:

<http://rd1.sony.net/help/mdr/as600bt/ja/>

二次元コード:



⚠️警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

1年に一度は、ほこりがたまっているか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにソニーの相談窓口またはお買い上げ店に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

- 1 電源を切る
- 2 ソニーの相談窓口またはお買い上げ店に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠️ 危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏液・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠️ 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故の原因となります。

⚠️ 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



⚠️ 危険



下記の注意事項を守らないと火災・感電・発熱・発火により死亡や大けがの原因となります。

付属以外のマイクロUSBケーブルを使わない



充電するときは、必ず付属のマイクロUSBケーブルを使用してください。破裂や電池の液漏れ、過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。

推奨以外のUSB ACアダプターを使わない



USB ACアダプターを用いて充電するときは、必ず推奨のAC-UD20(別売)を使用してください。

火の中に入れない



分解しない



故障や感電の原因となります。充電式電池の交換、内部の点検および修理はソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご依頼ください。

火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない



⚠️ 警告



下記の注意事項を守らないと火災・感電・発熱・発火によりやけがや大けがの原因となります。

道路交通法に従って安全運転する



運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となります。

- ・自動車やバイク、自転車などの運転中に、本機および携帯電話は絶対に使わないでください。交通事故の原因となります。
- ・運転中に携帯電話の画面を注視しない。
- ・運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所ではヘッドセットを使わないでください。
- ・歩行中でも音量を上げすぎるとまわりの音が聞こえなくなり危険です。

周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しない



歩行中でも音量を上げすぎるとまわりの音が聞こえなくなり危険です。踏み切りや横断歩道、駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使わないでください。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。



禁止

本体を布団などでおおった状態で使わない



禁止

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

⚠️ 注意 下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

大音量で長時間続けて聞きすぎない



禁止

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。

本機につないでいるBLUETOOTH機器によっては、通話時にハウリング現象がおきことがありますので、常に適度な音量を保つようにしてください。

はじめから音量を上げすぎない



禁止

突然大きな音が出て耳をいためることができます。音量は徐々に上げましょう。

通電中の製品に長時間ふれない



禁止

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。

かゆみなど違和感があつたら使わない



禁止

ヘッドセットが肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して、医師またはソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談ください。

本機をズボンなどの後ろのポケットに入れて座らない



禁止

変形や故障の原因となることがあります。

イヤーピースはしっかり取り付ける



禁止

イヤーピースがはずれて耳に残ると、けがや病気の原因となることがあります。イヤーピースはしっかり取り付けてください。

本機を航空機内で使わない



禁止

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本機を医療機器の近くで使わない



禁止

電波が心臓ペースメーカーに影響を与えるおそれがあります。満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使わないでください。

本機を心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上離す



禁止

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

本機を自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは使わない



禁止

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本機は、国内専用です



禁止

海外では国によって電波使用制限があるため、本機を使用した場合、罰せられことがあります。

電池についての安全上のご注意



禁止

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲によるけがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠️ 危険 充電式電池が液漏れしたとき

充電式電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠️ 警告 充電式電池について

- ・付属のマイクロUSBケーブル以外で充電しない。
- ・火の中に入れない。分解、加熱しない。
- ・火のそばや直射日光の当たるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- ・外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。

本機を廃棄する

機器に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取り外しはお客様自身では行わず、「ソニーの相談窓口」にご相談ください。「ソニーの相談窓口」の連絡先は裏面に記載されています。

BLUETOOTH機器について

機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- ・本機を分解／改造すること
- ・本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

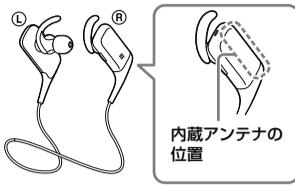
周波数について

本機は2.4 GHz帯の2.4000 GHzから

使用上のご注意

BLUETOOTH通信について

- BLUETOOTH無線技術ではおよそ10m程度までの距離で通信できますが、障害物(人体、金属、壁など)や電波状態によって通信有効範囲は変動します。
- 本機のアンテナは、下記の図の点線で示した部分に内蔵されています。接続するBLUETOOTH機器と本機のアンテナとの間に障害物が入らないようになりますことで、BLUETOOTH通信の感度は向上します。接続する機器のアンテナ部と、本機内蔵アンテナ部分との間に障害物などがある場合、ノイズや音途切れが発生したり、接続できなくなることがあります。



- BLUETOOTH通信は以下の状況において、ノイズや音途切れが発生したり、接続できなくなることがあります。
 - 本機とBLUETOOTH機器の間に人体がある場合
この場合は、本機のアンテナと同じ方向にBLUETOOTH機器を置くと改善されます。
 - 本機とBLUETOOTH機器の間に金属、壁などの障害物がある場合
 - 無線LANが構築されている場所や、電子レンジを使用中の周辺、その他電磁波が発生している場所など
- BLUETOOTH機器と無線LAN (IEEE802.11b/g/n)は同一周波数帯 (2.4GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近傍で使用すると、電波干渉のためノイズや音途切れが発生したり、接続できなくなることがあります。この場合、次の対策を行ってください。
 - 本機とBLUETOOTH機器を接続するときは、無線LANから10m以上離れたところで行う。
 - 10m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。
 - 本機とBLUETOOTH機器をできるだけ近付ける。
- BLUETOOTH機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本機およびBLUETOOTH機器の電源を切ってください。
 - 病院内／電車内の優先席付近／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
 - 自動ドアや火災報知機の近く
- 本機は、BLUETOOTH無線技術を使用した通信時のセキュリティとして、BLUETOOTH標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、設定内容などによってセキュリティが充分でない場合があります。BLUETOOTH通信を行う際はご注意ください。
- BLUETOOTH通信時に情報の漏洩が発生しましても、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機はすべてのBLUETOOTH機器とのBLUETOOTH接続を保証するものではありません。
 - 接続するBLUETOOTH機器は、Bluetooth SIG, INC.の定めるBLUETOOTH標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
 - 接続する機器が上記BLUETOOTH標準規格に適合していない場合、機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
 - ハンズフリー通話中、接続機器や通信環境により、雜音が入ることがあります。
- 接続する機器によっては、通信ができるようになるまで時間がかかることがあります。

充電について

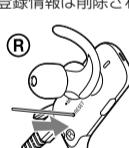
- 本機はUSB充電専用です。本機の充電を行なうには、USB端子のあるパソコンまたはUSB ACアダプター AC-UD20 (別売)が必要です。
- 充電中は電源が入らず、BLUETOOTH機能は使用できなくなります。
- 長い間使わなかったときは、充電式電池の持続時間が短くなることがあります。何回か充電を繰り返すと、充分に充電できるようになります。
- 長期にわたって保存する場合は、過放電防止のため、半年に1回程度の充電を行なってください。
- 電池の持続時間が極端に短くなっている場合は、充電式電池の交換時期です。交換については、ソニーの修理相談窓口にご相談ください。

静電気にに関するご注意

- 人体に蓄積される静電気により耳にピリピリと痛みを感じることがあります。天然素材の衣服を身につけることで軽減できます。

本機の動作がおかしいときは

- 本機をリセットしてください。
RESETボタンをピンなどの先の細いものでボタンの感触があるまで押します。機器登録情報は削除されません。
- 本機を初期化した場合には、iPhoneやパソコンに接続できなくなる場合がありますので、iPhoneやパソコン側の本機の登録をいったん削除して機器登録をしなおしてください。
- リセットをしても症状が改善されないときは、本機を初期化してください。
RESETボタンをピンなどの先の細いもので15秒以上押し続けます。ランプ(青)が4回点滅し、工場出荷時の設定に戻ります。すべての機器登録情報が削除されます。
- 本機を初期化した場合には、iPhoneやパソコンに接続できなくなる場合がありますので、iPhoneやパソコン側の本機の登録をいったん削除して機器登録をしなおしてください。



本機の防滴性能について

本機は、JIS C 0920「電気機械器具の外郭による保護等級(IPコード)」の「水の浸入に対する保護等級」である「IPX4¹⁾相当の防滴仕様²⁾となっていますが、水中での使用はできません。また使いかたによっては内部に水が入り、火災や感電、故障の原因となる恐れがあります。以下の点を充分にご理解、ご確認のうえ、ご使用ください。

防滴の対象となる液体

- 対象：真水、水道水、汗
 - 非対象：上記以外の液体(例：石けん水、洗剤や入浴剤の入った水、シャンプー、温泉水、お湯、ブルの水、海水など)
- 1) IPX4 (飛沫に対する保護等級)：あらゆる方向からの、飛沫に対して本体機能を保護するものです。
2) マイクロUSB端子のフタが完全に閉まっている状態であることを防滴性能については、上記条件による当社測定に基づいたものです。お客様の誤った取り扱いが原因の浸水による故障は保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。

防滴性能を保つために

- 下記の点をご確認のうえ、正しくご使用になってください。
- 本機とBLUETOOTH機器の間に人体がある場合
この場合は、本機のアンテナと同じ方向にBLUETOOTH機器を置くと改善されます。
 - 本機とBLUETOOTH機器の間に金属、壁などの障害物がある場合
 - 無線LANが構築されている場所や、電子レンジを使用中の周辺、その他電磁波が発生している場所など
 - BLUETOOTH機器と無線LAN (IEEE802.11b/g/n)は同一周波数帯 (2.4GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近傍で使用すると、電波干渉のためノイズや音途切れが発生したり、接続できなくなることがあります。この場合、次の対策を行なってください。
 - 本機とBLUETOOTH機器を接続するときは、無線LANから10m以上離れたところで行う。
 - 10m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。
 - 本機とBLUETOOTH機器をできるだけ近付ける。
 - BLUETOOTH機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本機およびBLUETOOTH機器の電源を切ってください。
 - 病院内／電車内の優先席付近／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
 - 自動ドアや火災報知機の近く
 - 本機は、BLUETOOTH無線技術を使用した通信時のセキュリティとして、BLUETOOTH標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、設定内容などによってセキュリティが充分でない場合があります。BLUETOOTH通信を行う際はご注意ください。
 - BLUETOOTH通信時に情報の漏洩が発生しましても、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - 本機はすべてのBLUETOOTH機器とのBLUETOOTH接続を保証するものではありません。
 - 接続するBLUETOOTH機器は、Bluetooth SIG, INC.の定めるBLUETOOTH標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
 - 接続する機器が上記BLUETOOTH標準規格に適合していない場合、機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
 - ハンズフリー通話中、接続機器や通信環境により、雜音が入ることがあります。
 - 接続する機器によっては、通信ができるようになるまで時間がかかることがあります。



- 寒冷地などでは、水滴が付着したまま放置すると凍結する恐れがあります。故障の原因となりますので、使用後は必ず水滴を拭き取るようにしてください。

その他のご注意

- 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所、直射日光の当たる場所や停車中の車内などには置かないでください。故障の原因となります。
- 携帯電話をご使用の際、電波状況、場所の影響により、ご使用できない場合があります。
- 本機は、力を加えたり重さを加えたりしたまま長時間放置すると、変形してしまうおそれがあります。保管するときは、変形しないようにしてください。
- 落としたりぶつけたりなどの強いショックを与えないでください。
- 汚れは、乾いた柔らかい布でふき取ってください。
- 本機をご使用中に気分が悪くなったりときは、即時に使用を中止してください。
- 首に巻きつけた状態で使用しないでください。窒息の原因となることがあります。
- 本機を付けたまま寝ないでください。寝ているあいだに本機のコードが首にからまり、窒息の原因となることがあります。
- ほかに疑問点や問題点がある場合は、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

イヤーピースは消耗品です。イヤーピースが破損・劣化し交換する場合は、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談くださいか、別売のEP-EX11シリーズ(SS, S, M, L, LLの各サイズ)をお買い求めください。

アーカサポーターは消耗品です。アーカサポーターが破損・劣化し交換する場合は、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

主な仕様

概要

通信方式

BLUETOOTH標準規格Ver. 3.0

出力

BLUETOOTH標準規格Power Class 2

最大通信距離

見通し距離 約10 m¹⁾

使用周波数帯域

2.4 GHz 帯 (2.4000 GHz ~ 2.4835 GHz)

変調方式

FHSS

対応BLUETOOTHプロファイル²⁾

A2DP (Advanced Audio Distribution Profile), AVRCP (Audio Video Remote Control Profile), HFP (Hands-free Profile), HSP (Headset Profile)

対応コーデック³⁾

SBC⁴⁾, AAC⁵⁾

対応コンテンツ保護

SCMS-T方式

伝送帯域(A2DP)

20 Hz ~ 20,000 Hz (44.1 kHzサンプリング時)

同梱物

ワイヤレスステレオヘッドセット(1)

マイクロUSBケーブル(約50 cm)(1)

ハイブリッドイヤーピースロング(SS/S/M/L 各2)

アーカサポーター (S/M/L 各2)

リファレンスガイド(本書)(1)

クイックスタートガイド(1)

その他印刷物一式

推奨アクセサリー

USB ACアダプター : AC-UD20 (別売)

スペアイヤーピース : EP-EX11シリーズ(別売)

- 1) 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わることがあります。

- 2) BLUETOOTHプロファイルとは、BLUETOOTH機器の特性ごとに機能を標準化したものです。

- 3) 音声圧縮変換方式のこと

- 4) Subband Codecの略

- 5) Advanced Audio Codingの略

ワイヤレスステレオヘッドセット

電源

DC 3.7 V : 内蔵充電式リチウムイオン電池

DC 5 V : USB充電時

質量

約21 g

許容動作温度

0 °C ~ 40 °C

電池持続時間

BLUETOOTH接続時

連続音楽再生 : 最大8.5時間

連続通話 : 最大8時間

連続待ち受け : 最大250時間

注 : コードックや使用条件などにより短くなる場合があります。

充電時間

約2.5時間

注 : 使用条件により変わる場合があります。

充電温度

5 °C ~ 35 °C

レシーバー部

形式

密閉ダイナミック

ドライバーユニット

9 mm

再生周波数帯域

20 Hz ~ 20,000 Hz

マイク部

形式

エレクトレットコンデンサー

指向性

全指向性

有効周波数帯域

100 Hz ~ 4,000 Hz

USB充電のパソコン推奨環境

以下のOSが標準インストールされており、USB端子が標準装備されたパソコン

- 下記環境を満たすすべてのパソコンで動作を保証するものではありません。

- 日本語版標準インストールのみ。

- 自作パソコンは動作保証対象外です。

—Windows[®]をお使いの場合

Windows[®] 8.1 / Windows[®] 8.1 Pro

Windows[®] 8 / Windows[®] 8 Pro

Windows[®] 7

Starter / Home Premium / Professional / Ultimate

Windows Vista[®] (SP2以降)

Home Basic / Home Premium / Business / Ultimate

—Macをお使いの場合

Mac OS X (バージョン10.3以降)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

• この製品には保証書が添付されていますので、お